

令和4年8月31日発行



こうじえん

普及センターだより

耕耳苑

宮古農業改良普及センター

TEL：0193-64-2220

FAX：0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL：0194-22-3115

FAX：0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

畑わさび作業体験会を開催しました！

令和4年8月22～26日の5日間、岩泉町で県内大学生等を対象とした畑わさび作業体験会を開催しました。県内から7名で参加し、町内のわさび農家での作業体験、畑わさび加工体験の他、岩泉ホールディングス株式会社の6次産業化の取組についての講義など、岩泉町の産業振興について幅広く学びました。

参加者からは「大好きなわさびの栽培から加工までを知ることができた」「力仕事が多い一方、出荷調製作業は予想以上の繊細さが求められることに驚いた」「作業がとても楽しく、機会があればまた来たい」という感想とともに、「岩泉町が畑わさび生産量日本一ということをもっとPRしてはどうか」「SNS映えする商品やイベントをつくってはどうか」「圃場の選定にドローンを活用できないか」などの提言もありました。新しい岩泉ファン・畑わさびファンを確保し、若者目線の貴重な意見も得られた5日間でした。これらの意見は今後の取組に活かしていきます。



【担当：千葉（彩）】

第 66 回岩手県畜産共進会にて宮古・岩泉管内の牛が入賞！

～ 次なるステージ“和牛オリンピック”へ出場決定！ ～

令和 4 年 7 月 27 日、JA 全農いわて中央家畜市場において「第 66 回岩手県畜産共進会・黒毛和種の部」が開催されました。今回の共進会は和牛オリンピックとも呼ばれる「全国和牛能力共進会」の県代表最終選考会を兼ねて開催されました。

当日は合計 45 頭の出品があり、宮古・岩泉管内からは 9 頭の出品のうち 6 頭入賞するなど、数多く受賞したことに加え、若雌の部(第 2 区)では佐々木和時美さん、群出品の部(第 5 区)では工藤ミエさんの出品牛が名誉賞を受賞しました！

今回、名誉賞及び 1 等賞を受賞した 6 頭は、10 月に鹿児島県で開催される「第 12 回全国和牛能力共進会」への出場が決定しました。全国の舞台で活躍できるよう、農協や県などで構成される全共支援チームで巡回し、飼養者の皆様とともに飼養管理に努めてまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします！

【担当：姉帯】

<管内入賞一覧>

出品区	名号	生産者・飼養者	市町村	入賞等級
第 2 区	ゆりぐも	佐々木和時美	岩泉町	名誉賞
第 4 区	やよい	高田泰義	宮古市	1 等賞
	やまねてんのう	工藤ミエ	岩泉町	
第 5 区	みなみ	工藤ミエ	岩泉町	名誉賞
	あきつねくも			
	あきゆりぐも			

入賞おめでとうございます！



台風対策を万全に！

これから10月頃にかけて、台風が発生しやすい時期となりますので、事前の対策を行い、台風による農作物等の被害防止に努めましょう。

台風が接近している最中は、人命第一の観点から、圃場の見回りは行わないでください。大雨・強風が治まった後の見回りも、増水した水路、その他の危険な場所には近づかず、足下等、圃場周辺の安全に十分に注意してください。

<作目毎の対策>

<p>水稲・畑作物</p>	<p>○事前対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水や冠水に備え、<u>排水口、排水路を点検・補修</u>し、つまりの原因となる<u>ゴミを除去</u>する。 <p>○事後の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠水した場合は、<u>速やかな排水</u>に努めるとともに、その後は湛水管理とする。また、いもち病が発生しやすくなるので<u>薬剤散布</u>を行う（水稲）。 ・<u>周囲溝や排水口を再点検・補修</u>を行い、<u>排水を促進</u>する。また、風雨で生じた傷口から病原菌が侵入し、病害が発生しやすいため<u>薬剤散布</u>を行う（畑作物） 	 <p>排水路の事前点検を！</p> <p>【担当：小野】</p>
<p>野菜・花き</p>	<p>○事前対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>排水溝の整備・点検</u>を行い、可能であれば侵入水防止に排水溝を設置する。 ・防風ネットのワイヤーやネットを補修する。 ・倒伏防止に畦の両端や所々に支柱を補強し、茎葉を固定する。 ・パイプハウスの点検・補強する ・<u>収穫可能なものはできるだけ事前に収穫を終える</u>。 <p>○事後対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場にたまった水は<u>ただちに排水</u>し、畦間の中耕を行うなど、根の伸長を促進する。 ・<u>防除基準に従い殺菌剤を散布</u>する（きゅうりは褐斑病やべと病、ピーマンは斑点病、ブロッコリーは黒すす病）。 ・草勢が低下した場合、液肥を薄い濃度で施用または葉面散布する。 ・果菜類では、<u>傷んだ茎葉や果実は摘除</u>して草勢回復を図る。 	 <p>ハウスの点検・補強</p> <p>【担当：小原】</p>
<p>りんご等果樹</p>	<p>○事前対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫が近い品種について、果実品質や農薬の収穫前日数を確認し、<u>収穫が可能なものは速やかに収穫</u>を進める。 ・防風ネットを設置している園地では、ネットの張りを点検し、<u>緩んでいるワイヤーの張り直しや破れたネットの張り替え</u>を行う。 ・わい性樹は強風で倒伏することがあるので、主幹を支柱に2～3カ所結束する。 <p>○事後対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強風や雨により、樹が斜めに傾いたり横になった場合の<u>立て直しはできるだけ早く行う</u>。なお、すぐに立て直するのが難しい場合は、露出した根が乾かないようにする。 ・冠水等により枝に付着したごみや果実の泥を取り除く。 ・果実に腐敗等が認められた場合は、<u>速やかに取り除く</u>。 ・側枝や大きな結果母枝が折れた場合は、<u>傷口を滑らかに切り、塗布剤を使用</u>する。 	 <p>傾いた樹の立て直しは早めに</p> <p>【担当：千田】</p>

○事前対策

- ・飼料用とうもろこし圃場では、排水路や排水溝の点検を実施する。また、飼料用とうもろこしは、湿害に弱いいため、排水ポンプの準備等の排水対策を行う。
- ・停電に備え、非常用電源の準備を行うとともに、動作確認や燃料の確保を実施する。また、断水に備え、飲水用の貯水タンクを準備する。



自家発電機の準備

- ・畜舎周辺を点検し、畜舎内に雨水が入らないよう排水溝の点検を行うとともに、必要であれば修繕や補強を実施する。

○事後対策

- ・飼料用とうもろこし圃場が冠水した場合は、速やかに排水を行う。また、台風通過後、倒伏・折損の状況を見て早めに収穫・貯蔵する。調製にあたっては、「登熟中のもの・泥等の付着があるもの」へは乳酸菌等の添加を行い、良質発酵を促す。
- ・浸水した畜舎は、台風通過後、疾病等の未然防止のため速やかに消毒を行う。
- ・牛床の敷料が雨水等で濡れた場合は、速やかに乾いたものと交換する。

【担当：山本】

生産資材等価格高騰に関する相談窓口の設置について

県では今般の生産資材等の高騰に関する相談窓口を各地域に設置しました。宮古地域の相談窓口は、宮古農業改良普及センター（岩泉普及サブセンターを含む）と宮古農林振興センターとなります。

肥料等の資材コスト低減技術に関するお問合せは、農業改良普及センターまでどうぞ。

【担当：昆】



秋の農作業安全確認運動が始まります！！

農作業死亡事故の減少に向けて、令和4年9月1日から10月31日までを農作業安全対策の重点期間として、「令和4年秋の農作業安全確認運動」を実施します。

令和4年秋の重点推進テーマは春に引き続き「しめよう！シートベルト」です。令和3年時点で、乗用型のトラクターによる転倒・転落事故が死亡事故の原因として最多となっていますので、作業前に必ずシートベルトを締めましょう。

また、作業前後には点検を実施し、故障がないことを確認してから使用しましょう。

【担当：千田】

8月に入って長雨が続き、農作業が遅れがちという農家さんの声が聞こえてきます。秋の農作用業安全確認運動が始まりましたが、農作業事故原因の一つには、焦りによる「作業手順の省略」や「確認不足」もあるようです。焦る気持ちにはブレーキを、農作業事故のないよう安全確認をよろしくお願いします。（佐々木（久））